（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	みんなの子ども園あるたす			
○保護者評価実施期間	2026　年　1　月　13　日		～	2026　年　1　月　16　日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	4世帯	（回答者数）	３世帯
○従業者評価実施期間	2026　年　1　月　13　日		～	2026　年　1　月　16　日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	1名	（回答者数）	1名
○訪問先施設評価実施期間	2026　年　1　月　13　日		～	2026　年　2　月　5　日
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）	4名	（回答数）	1名
○事業者向け自己評価表作成日	2026　年　2　月 24 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人の理念がインクルーシブ教育であるため、地域で頑張っている子どもたちや保護者に寄り添う的確な支援ができる。	子ども同士の関わり合いを大切にし、タイミングや適切な場面での介入、子どもの特性を理解した支援を行う。	関係機関との連携をより密にしていく。
2	多職種、専門性を持った職員が訪問する。	保育士、看護師、作業療法士、心理士、児童指導員等、専門性を持った職員が多方面からの視点で様子観察をし支援していく。	よりスキルアップするために各職員の研修や勉強会参加を促す。
3	利用児の背景や特性理解をしっかり行う。	保護者とのアセスメントを密に行い、利用児の行動と気持ちの把握をする。	関係機関との連携をより密にしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園、幼稚園、学校等への保育所等訪問支援の周知不足。	延岡市の支給量も2日/月しかなく頻度が少ないため必要性を感じてもらえていない。 保護者申請なので関係機関は保護者との関係性悪化を懸念されている。	保育所等訪問支援事業の役割として何ができるかを職員で考えていく。
2			
3			